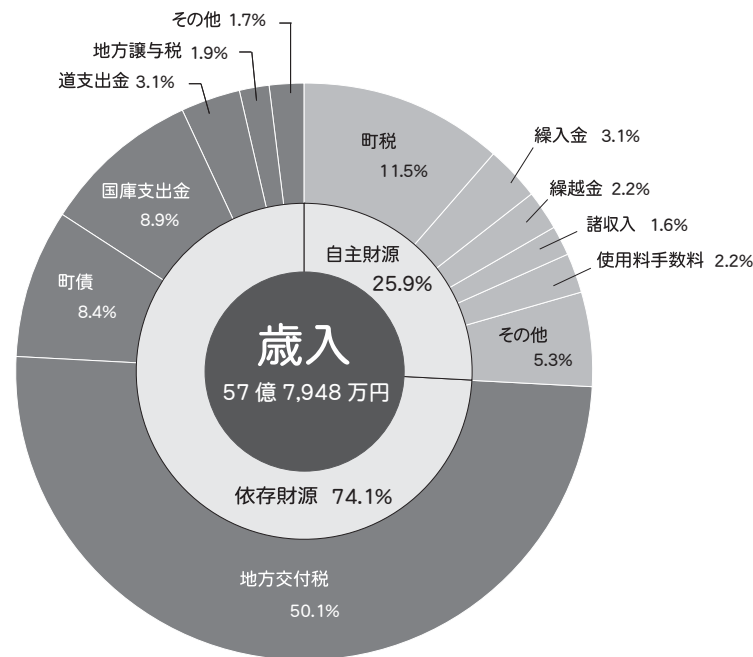


決算報告

平成20年度の一般会計と特別会計の決算が去る12月14日から開催された第4回定例町議会で認定されました。町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金などは基盤整備や福祉、教育の充実など様々な分野で使われています。ここでは、まちの家計簿である平成20年度の決算状況についてお知らせいたします。

項目別内訳



区 分	決 算 額	前年比 (%)
自主財源	14億9,556万円	23.2
町 税	6億6,458万円	1.4
繰 入 金	1億7,946万円	375.6
繰 越 金	1億2,522万円	△15.4
諸 収 入	9,447万円	△13.9
使用料手数料	1億2,509万円	1.0
そ の 他 (分担金・寄付金など)	3億674万円	119.5
小 計	14億9,556万円	23.2
依存財源	42億8,392万円	10.4
地方交付税	28億9,581万円	3.3
町 債	4億8,740万円	24.7
国庫支出金	5億1,379万円	83.8
道 支 出 金	1億8,159万円	△2.2
地方譲与税	1億770万円	△3.8
そ の 他 (地方消費税交付金など)	9,763万円	△9.3
小 計	42億8,392万円	10.4
合 計	57億7,948万円	13.5

町 税 の 内 訳		
税 目	平成20年度	前年比 (%)
個人町民税	2億3,214万円	△1.4
法人町民税	6,209万円	35.6
固定資産税	3億1,515万円	0.6
軽自動車税	933万円	△0.2
町たばこ税	2,925万円	△15.5
入湯税	1,662万円	△0.3
合 計	6億6,458万円	1.4

▼一般会計決算状況

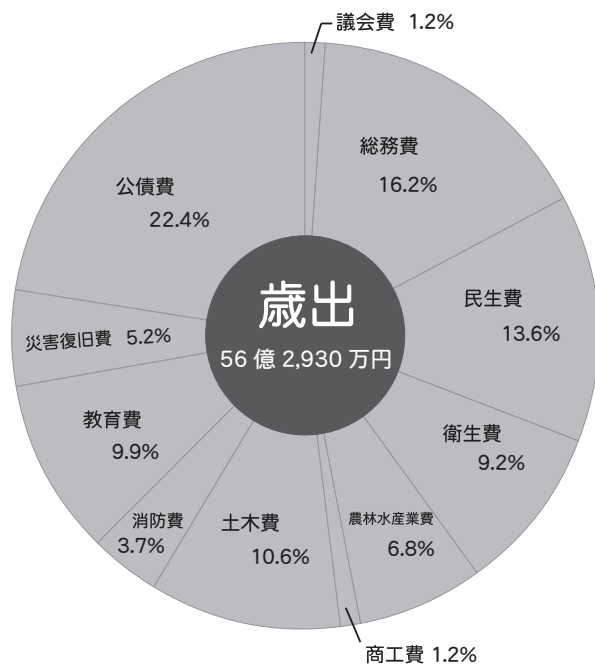
平成20年度一般会計予算編成においては、『行財政改革の推進』『定住・交流人口の拡大と地域連携』『保険・福祉・医療体制整備』の3項目を基本とし、『予防行政の推進』『一次産業の活性化』『教育・文化の振興』についても視野に入れ予算措置をいたしました。予算執行にあたっては、効率的な財政運営を目標に執り進めてきましたが、原油価格の高騰や世界同時不況の影響などで経済情勢が不安定なことに加え、近年の異常気象による局地的な大雨災害など予期できない突発的事案が発生し安定的な財政状況にはなっておりません。また、自主財源の柱となる町税においては、個人所得の減少等により安定的な財源確保は見込めず、地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない状況であり、各財政指標においても依存財源の増減により左右される厳しい状況にあります。

平成20年度の一般会計決算額は、歳入総額57億7,948万円、歳出総額56億2,930万円を執行し、歳入歳出差引は1億5,018万円、これが平成21年度への繰越金となります。このうち地域活性化・生活対策臨時交付金事業等の繰越明許費として2,011万円を翌年度へ繰越すべき財源として含んでいますので、この分を差し引いた平成20年度の実質収支額は1億3,007万円となります。

▼歳入

平成20年度の歳入決算は57億7,948万

一般会計



区 分	決 算 額	前年比 (%)
議 会 費	6,588万円	△7.2
総 務 費	9億1,055万円	44.4
民 生 費	7億6,857万円	△0.4
衛 生 費	5億1,708万円	12.0
農 林 水 産 業 費	3億8,340万円	35.9
商 工 費	6,822万円	2.2
土 木 費	5億9,853万円	16.2
消 防 費	2億688万円	△0.5
教 育 費	5億5,726万円	△10.0
災 害 復 旧 費	2億9,408万円	235.3
公 債 費	12億5,885万円	△0.3
合 計	56億2,930万円	13.3

平成20年度の歳入決算額は57億7,948万円、前年度決算額と比較し6億8,542万円、13.5%の増額となりました。増減額のうち決算額が大きく増額したものは、国庫支出金が83.8%の増、次いで財産収入が260.8%の増となっています。国庫支出金が増額になった主な要因は、国の補正予算に伴い地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金、地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金に関する国庫補助金、西泊津環状線及び大狩部本郷井旗線道路改良に係る交付金、7月大雨災害に係る国庫負担・補助金が増額したことによるものであり、また、財産収入では学校跡施設について3校分の売払収入が増額要因となっています。

また、決算額が減額した項目は繰越金15.4%の減、次いで寄附金の64.6%の減等となっています。繰越金の減額は、前年度繰越明許費の財源が減額したことによるものです。寄附金については、ふるさと納税制度を開始しましたが、平成20年度は15件1,013万円の寄附受納となりました。また、町税の収入未済額は1億794万円、不納欠損処分として整理したものは267万円、これら収入未済額の合計額は1億1,061万円の決算となり、前年度と比較して459万円、4.3%増加しました。

▼歳出

平成20年度の歳出決算額は56億2,930万円、前年度決算額と比較して6億6,046万円、13.3%の増加となりました。前年度と比較して、総務費において定額給付金給付事業、学校跡施設再利用支援事業、ふるさとづくり基金積立、7月大雨の被災による災害復旧費、農林水産業費の道営土地改良事業負担金等において増額しています。

また、減額した主なものは、小学校7校減による教育費等です。

主な事務事業の決算内訳

●総務費	
定住移住促進・支援事業	1,020万円
●衛生費	
伝染病予防接種事業	340万円
●農林水産業費	
有害鳥獣駆除対策事業	471万円
●土木費	
大狩部本郷井旗線道路改良舗装事業	4,870万円
西泊津環状線道路改良事業	15,130万円
●教育費	
体育施設整備事業	1,842万円
●災害復旧費	
平成20年7月大雨災害復旧費	22,192万円

特別会計決算

簡易水道事業特別会計	歳入	2億9,275万円
	歳出	2億9,169万円
下水道事業特別会計	歳入	2億214万円
	歳出	2億151万円
国民健康保険特別会計	歳入	8億1,005万円
	歳出	7億6,278万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5,123万円
	歳出	5,123万円
老人保健特別会計	歳入	9,741万円
	歳出	9,741万円
介護サービス特別会計	歳入	3億2,984万円
	歳出	3億2,766万円
合 計	歳入	17億8,342万円
	歳出	17億3,228万円
	差引繰越額	5,114万円

国民健康保険	事業収益(収入)	5億328万円
病院会計	事業費用(支出)	5億324万円

平成20年度				
患者取扱状況	1日平均患者数	患者延べ数	前年度比	
			増減	増減率%
入院	366日・外来244日			
入院	32.5	11,864	△886	△6.9
内科・小児科	29.5	10,770	△1,588	△12.8
整形外科	3.0	1,094	702	179.1
外来	121.0	29,531	1,493	5.3
内科・小児科	77.7	18,958	△3,785	△16.6
整形外科	43.3	10,573	6,144	138.7
婦人科	0.0	0	△866	—
合 計	153.5	41,395	607	1.5